

## 第2章 みよし市の緑の現況

みよし市の緑の現況について、「みよし市の自然」、「みよし市の社会動向」、「緑地の現況」、「市民アンケート」の4つの視点から整理しています。計画書には、それぞれの視点に関する主要な項目を記載し、全ての項目については参考資料の「現況編」としています。

### みよし市の自然

みよし市の自然とは、気象環境や地形・地勢、地質、植生、水系（河川やため池）、動物相等のみよし市内の自然に関する項目を示しています。



三好池（ため池）

資料：みよし市HP

### みよし市の社会動向

みよし市の社会動向とは、人口や土地利用、公共施設や市街地開発事業、産業、交通網、歴史・景観等の社会動向に関する項目を示しています。



みよし市役所（公共施設）

資料：みよし市HP

### 緑地の現況

緑地の現況として、緑地の量等について整理しています。緑地とは、都市公園等の公共施設やゴルフ場や神社寺院等、民間の管理施設で構成される「施設緑地<sup>※1</sup>」と保安林等法令により位置づけられる「地域制緑地<sup>※2</sup>」に大別されます。



保田ヶ池公園（都市公園）

資料：みよし市HP

### 市民アンケート

市民アンケートは、緑と景観のまちづくりに対する市民の意識を把握し、計画づくりに反映することを目的として実施しています。

また市民アンケートの調査結果から、特徴を整理しています。



街路の環境美化（市民協働）

資料：みよし市HP

※1 施設緑地：都市公園及び公共施設や民間施設の緑地として、整備・管理されている緑地。

※2 地域制緑地：一定の区域に対し、法令や協定等で、その土地利用を規制することで、良好な自然環境等の保全を図ることを目的として指定する緑地。

## 1. みよし市の自然

### (1) 位置

本市は愛知県のほぼ中央に位置し、名古屋から東に 20km 圏にあり、三河地区の西端に位置しています。また、豊田市、日進市、刈谷市、東郷町と接しており、東西約 8 km、南北約 10km の最大幅を持ち、面積は、32.19k m<sup>2</sup>となっています。

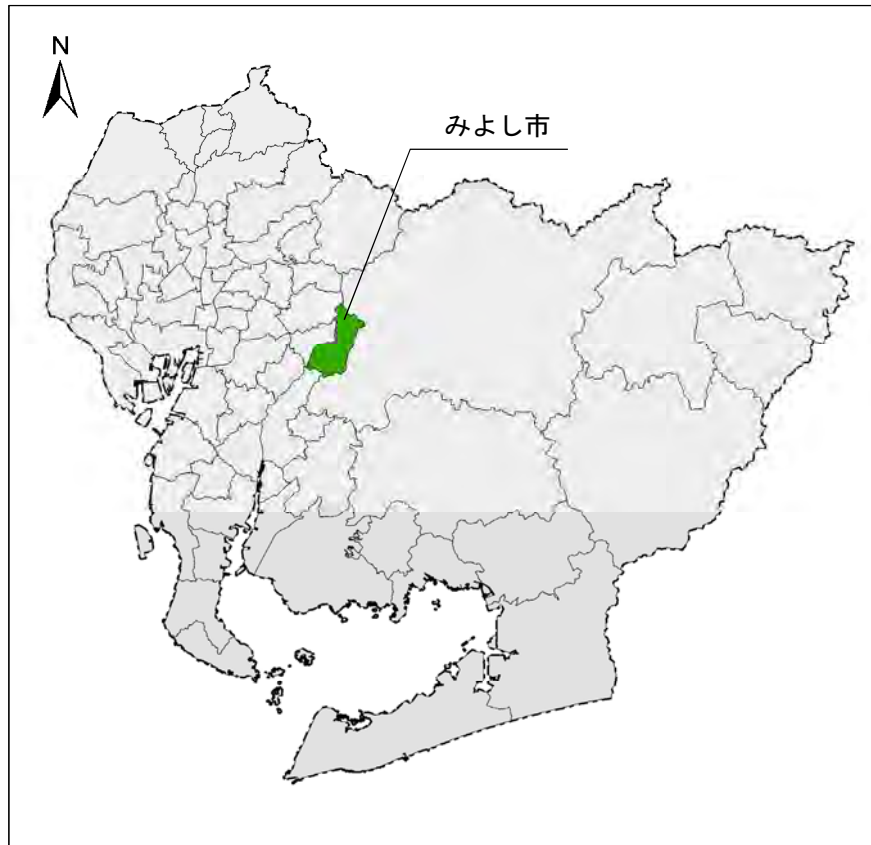


図 みよし市の位置図

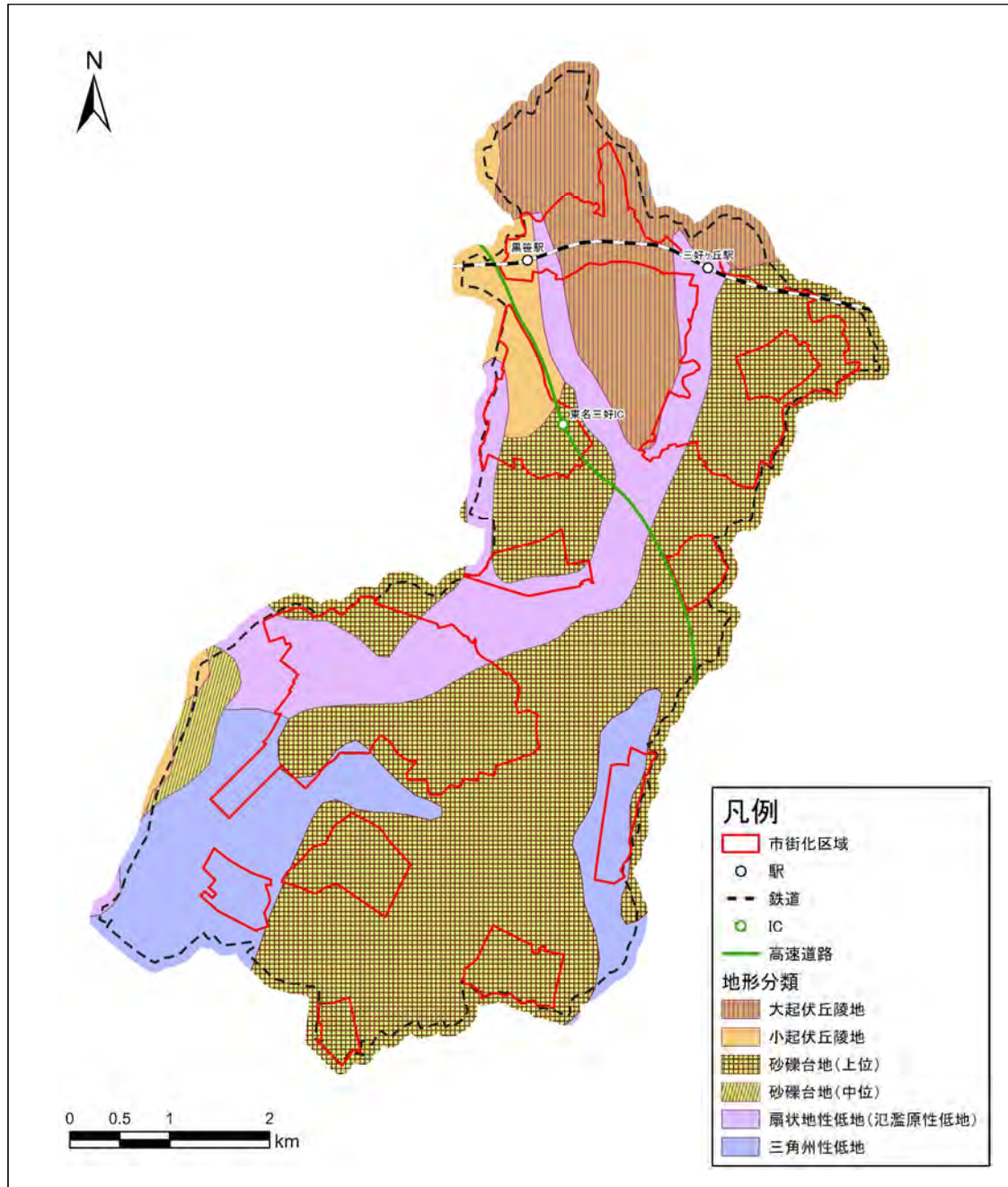
### (2) 土壌

本市の地質は、新生代後半にできた比較的新しいものであり、三好丘陵下部を形成する鮮新世の東海層群、丘陵上部を形成する第四紀更新世の三好層、平野部を形成する第四紀完新世の沖積層等から構成されます。

このうち、三好層はみよし市から刈谷市北部の丘陵に分布する、主にチャート礫からなる礫層を主とした地層です。この地層は、今から 70～80 万年前の更新世中期頃に堆積したと考えられます。

### (3) 地形・地勢

本市は、西三河平野（岡崎平野）の北端に位置しており、地形は、全体的には南から北に向かって徐々に高くなっていく低起伏な丘陵地となっています。

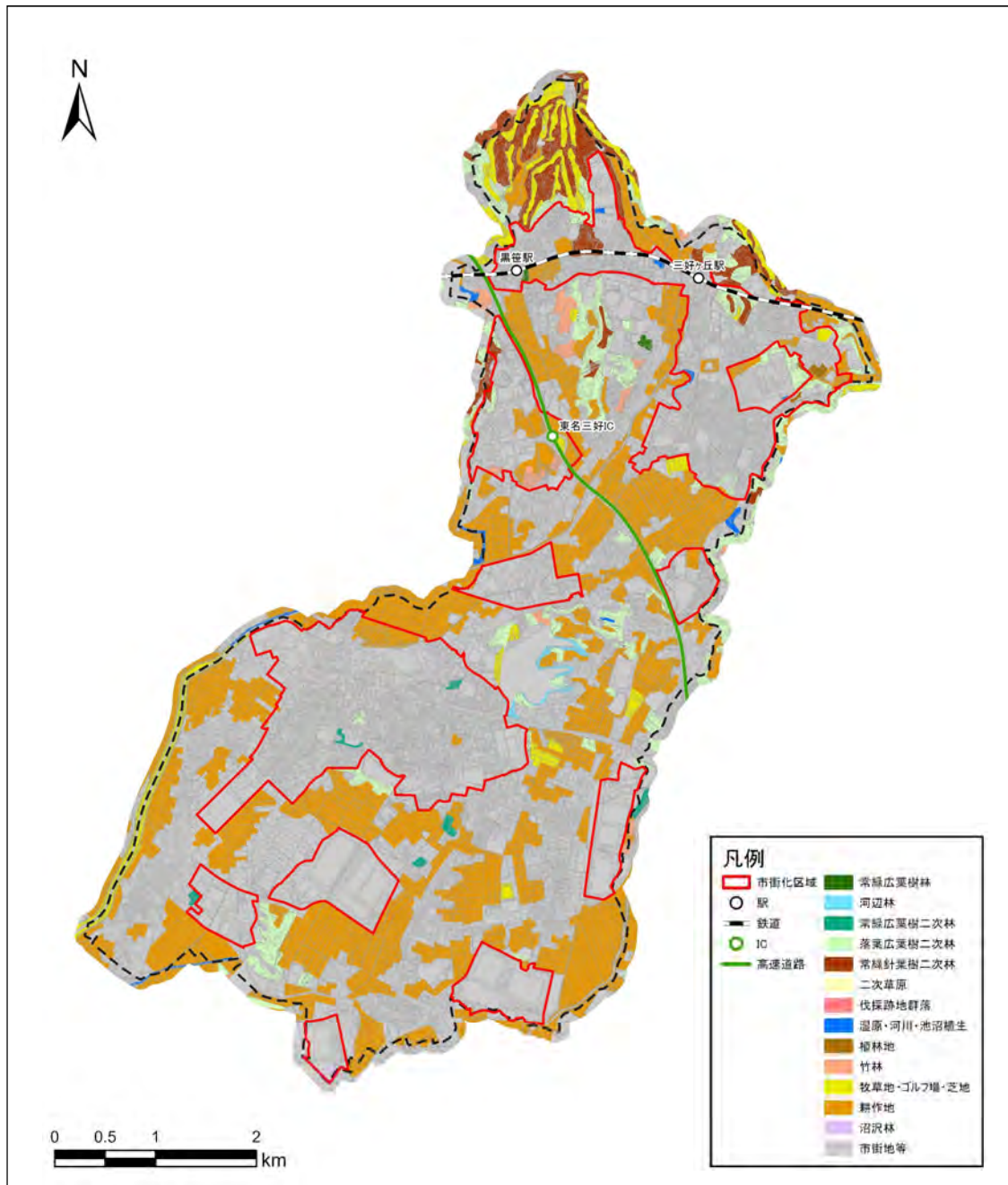


資料：土地分類基本調査（国土交通省）

図 地形分類図

#### (4) 植生

市全域に耕作地が広がっており、市北部は常緑針葉樹二次林<sup>※1</sup>や牧草地・ゴルフ場・芝地となっています。



資料：自然環境保全基礎調査

図 植生分布図

※1 二次林：原生林が伐採や災害等で破壊された後、自然に、または人為的に再生した森林。



## (5) 動物相

本市の生物多様性<sup>※1</sup>に係る現況を把握し、生物多様性の保全施策に反映することを目的に「レッドデータブックあいち 2020」及び、NPO<sup>※2</sup>法人みよしの自然環境を守る会による「あいち生物多様性モニタリング<sup>※3</sup>」の調査結果を整理しました。

「レッドデータブックあいち 2020」より、本市及び周辺地域には貴重な動植物も多数存在しています。絶滅危惧ⅠA類7種、絶滅危惧ⅠB類25種、絶滅危惧Ⅱ類52種、準絶滅危惧74種が掲載されています。

また、NPO法人みよしの自然環境を守る会による「あいち生物多様性モニタリング」の調査結果より、多くの指標種が本市で確認されています。

表 本市及び周辺地域における絶滅危惧種の数

		絶滅 (EX)	絶滅危惧 ⅠA類 (CR)	絶滅危惧 ⅠB類 (EN)	絶滅危惧 Ⅱ類 (VU)	準絶滅 危惧 (NT)	情報 不足 (DD)	地域 個体群 (LP)	国リスト	合計
植 物	維管束植物	6	6	19	39	38	0	0	17	125
	セン類	0	0	0	1	2	0	0	0	3
	タイ類	0	0	0	2	0	0	0	1	3
	小計	6	6	19	42	40	0	0	18	131
動 物	哺乳類	0	0	0	3	4	1	2	0	10
	鳥類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	爬虫類	0	0	0	0	1	3	0	0	4
	両生類	0	0	1	1	0	0	0	0	2
	汽水・淡水魚類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	昆虫類	0	1	1	4	21	0	0	0	27
	クモ類	0	0	4	2	8	0	0	0	14
	貝類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	1	6	10	34	4	2	0	57
合計		6	7	25	52	74	4	2	18	188

EX：絶滅(すでに絶滅したと考えられる種)

CR：絶滅危惧ⅠA類(ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの)

EN：絶滅危惧ⅠB類(ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの)

VU：絶滅危惧Ⅱ類(絶滅の危険が増大している種)

NT：準絶滅危惧(存続基盤が脆弱な種)

DD：情報不足(評価するだけの情報が不足している種)

LP：地域個体群(その種の国内における生息状況に鑑み、特に保全のための配慮が必要と考えられる特徴的な個体群)

国リスト：環境省レッドリストに掲載されているが、愛知県において上記の要件に該当しない種

資料：レッドリストあいち 2020 (愛知県)

※1 生物多様性：生き物の豊かな個性と繋がりのこと。

※2 NPO：Non-Profit Organization の略。様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し収益を分配することを目的としない団体の総称。

※3 あいち生物多様性モニタリング：愛知県がNPOや企業、行政等との協働により進めている「生態系ネットワーク形成」の成果や、自然環境の変化の把握を目的とした県民参加型の調査。県が選定した動物50種、植物50種の指標種を対象としています。

## 【動物】(50種)

調査テーマ	指標種
①身近な哺乳類	ホンドキツネ (指標種以外：ホンドカヤネズミ、ニホンリス、ホンドイタチ)
②身近な野鳥	カルガモ、ケリ、アオサギ、コサギ、コアジサシ、カワセミ、コゲラ、ツバメ、ウグイス、オオヨシキリ
③池や水路のカメ	ニホンイシガメ、クサガメ、ミシシippアカミミガメ
④身近なカエル	アズマヒキガエル、ウシガエル、ニホンアマガエル、シュレーゲルアオガエル、トノサマガエル、ナゴヤダルマガエル、ヌマガエル、ツチガエル、ニホンアカガエル
⑤トカゲ・ヤモリ・イモリ	ヒガシニホントカゲ、ニホニヤモリ、アカハライモリ
⑥川や池の魚たち	カワバタモロコ、ミナミメダカ、カダヤシ、カマツカ、カワヨシノボリ、アメリカザリガニ
⑦林や草地の昆虫	マツムシ、ショウリョウバッタ、オオカマキリ、ヤマトタマムシ、ミヤマクワガタ、カブトムシ、アオスジアゲハ、アゲハ、ナガサキアゲハ、ツマグロヒョウモン、アサギマダラ
⑧水辺のトンボ	ハグロトンボ、キイトンボ、ギンヤンマ、チョウトンボ、アキアカネ、ハッチョウトンボ、シオカラトンボ

## 【植物】(50種)

調査テーマ	指標種
⑨タンポポ地図	ニホニタンポポ、シロバナタンポポ、セイヨウタンポポ、アカミタンポポ、エゾタンポポ、キビシロタンポポ(ヤマザトタンポポを含む)
⑩春の水田雑草	ゲンゲ(レンゲソウ)、セトガヤ、サナエタデ、カワヂシャ、コオニタビラコ
⑪秋の七草調査	ススキ、マルバハギ、ツクシハギ、クズ、カワラナデシコ、オミナエシ、ヒヨドリバナ、キキョウ、ツリガネニンジン、ワレモコウ
⑫湿地の植物	ミズギボウシ、ミカヅキグサ、ヌマガヤ、ヌマトラノオ、モウセンゴケ、トウカイモウセンゴケ、クロミノニシゴリ、ハルリンドウ、ミミカキグサ、ホザキノミミカキグサ、サワギキョウ、サワシロギク
⑬里山の植物	アカマツ、アベマキ、フモトミズナラ、ミカワツツジ、クロバイ、エンシュウムヨウラン
⑭ニホンジカによる食害	マツカゼソウ※、コアカソ、ツリフネソウ、アオキ、ハナイカダ (このテーマは調査対象外)
⑮監視したい外来植物	ヨシススキ、ナガエモウセンゴケ、オオカワヂシャ、ヤナギバルレイラソウ、メリケンタギンソウ、ウチワゼンクサ

種名は確認された種、赤字は外来種、赤の下線は特定外来生物を示す

※マツカゼソウは、ニホンジカの忌避植物であり、増えることでニホンジカの活動が活発であることを示していることから、指標種に選定されています。

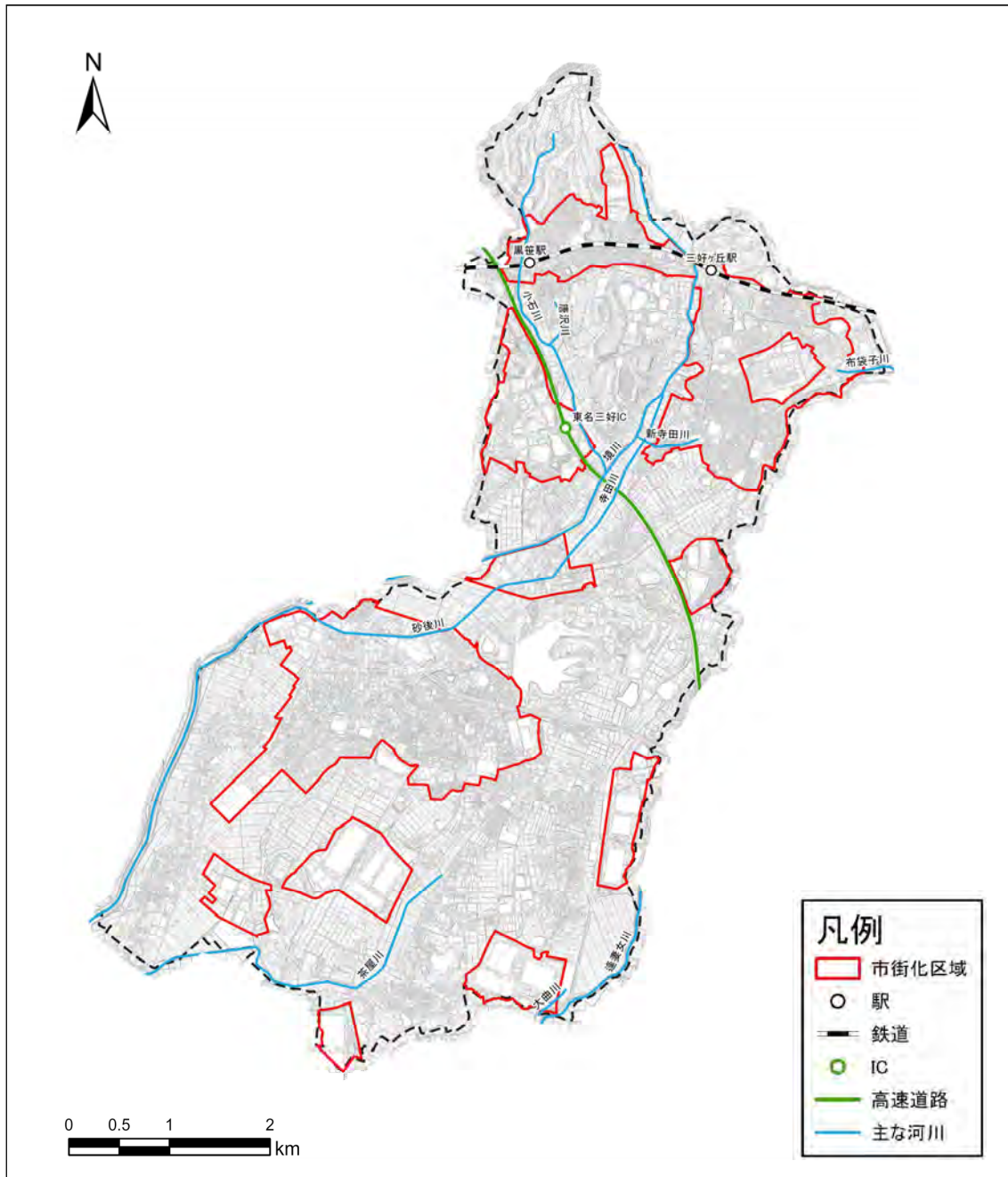
資料：みよし市生物多様性戦略（令和3(2021)年3月）

図 NPO法人みよしの自然環境を守る会による「あいち生物多様性モニタリング」の調査結果

## (6) 水系

### 1) 河川

本市の河川は、境川とその支流から構成され、境川では河川敷におけるレクリエーション※1 の場、自然とのふれあいの場等としての利用と河川が持つ親水性を活用した整備が進められています。



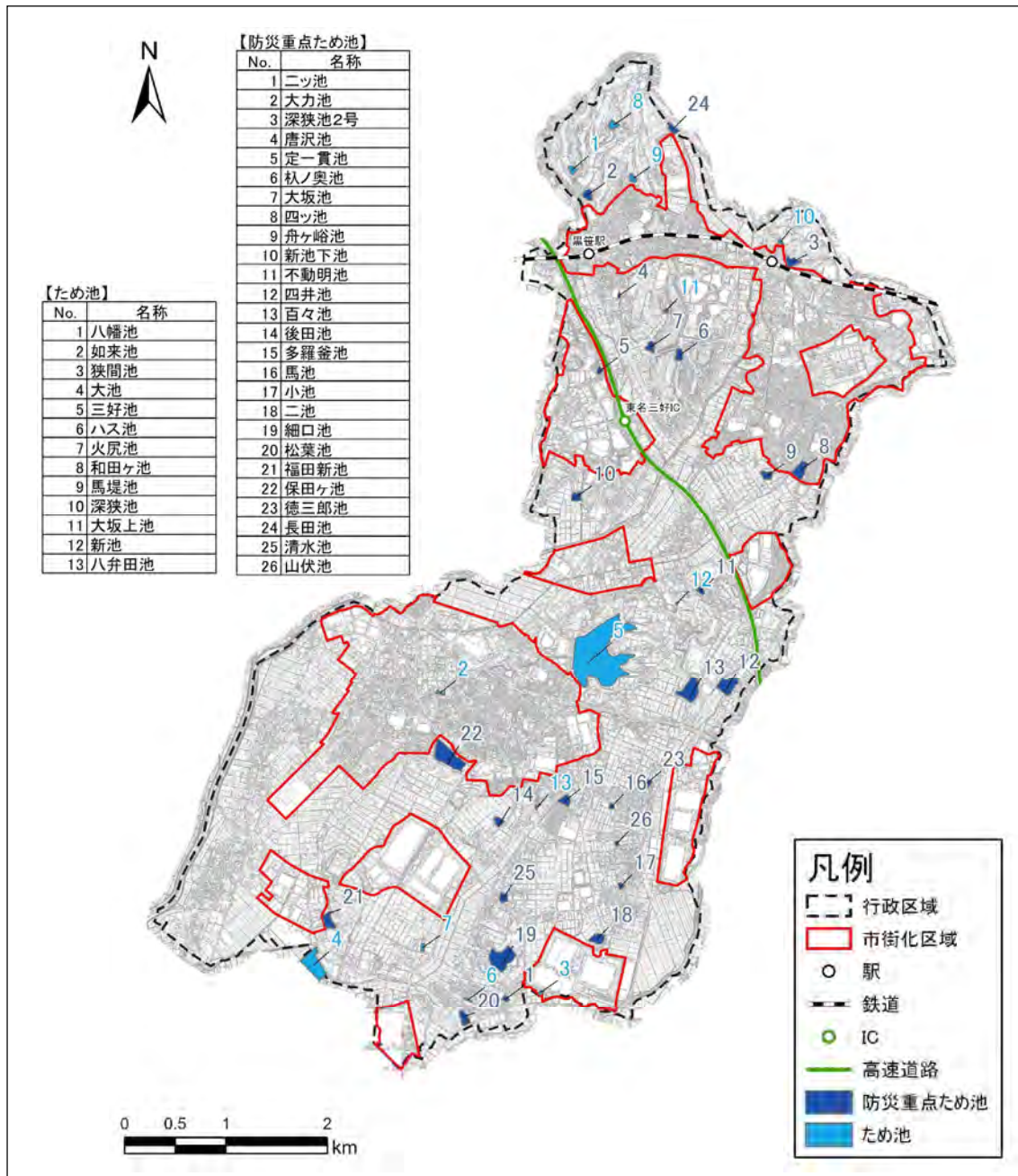
資料：国土数値情報

図 河川位置図

※1 レクリエーション：仕事や勉強等の日常生活の疲れを癒すための休養、娯楽。

## 2) ため池

本市のため池は、防災重点ため池とため池に大別されています。防災重点ため池は、26箇所、ため池は13箇所となっています。



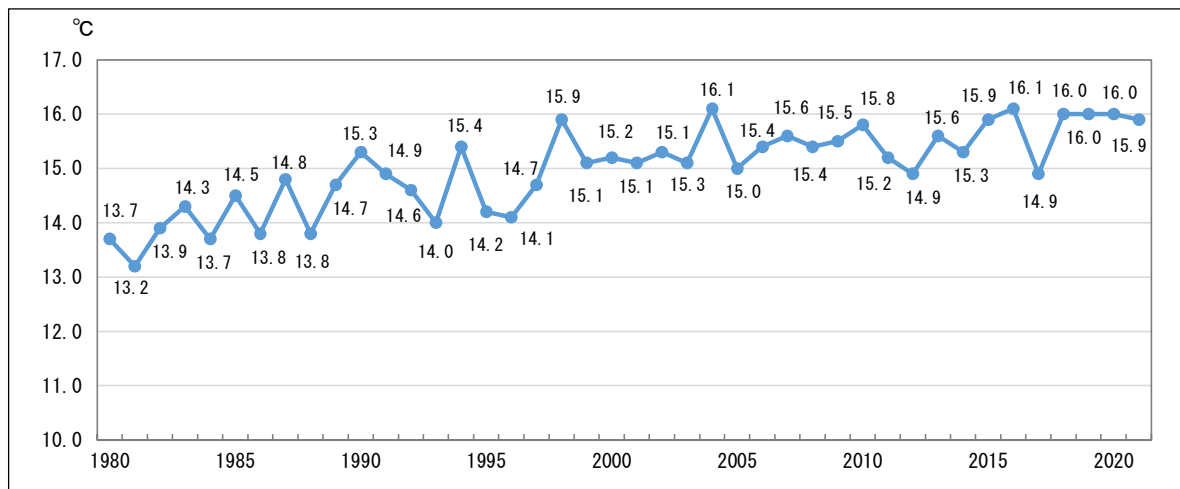
資料：みよし市資料（一部加筆）

図 ため池位置図



## (7) 気象環境

本市において、おおよそ40年間の平均気温は上昇傾向にあります。



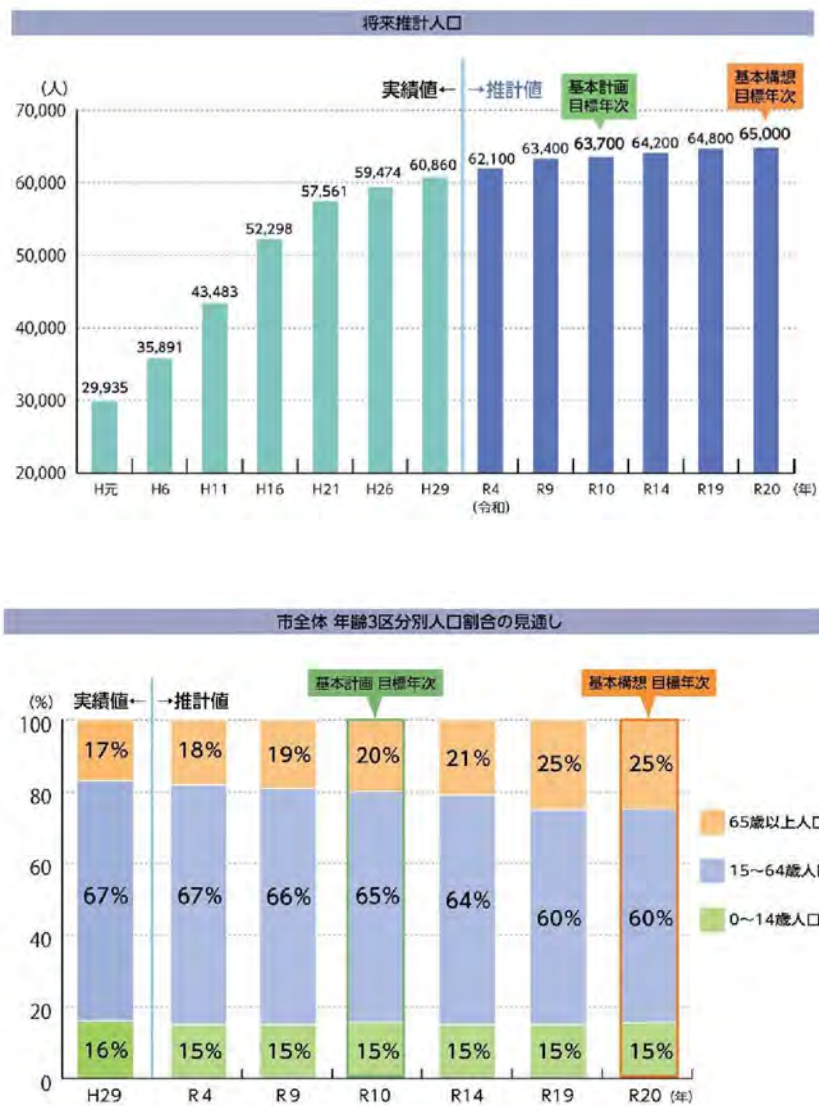
資料：気象庁HP（観測地点：豊田）

図 平均気温の変化

## 2. みよし市の社会動向

### (1) 人口動向

第2次みよし市総合計画では、令和20(2038)年の将来人口を65,000人と想定しています。また市全体では、令和20(2038)年に65歳以上人口は25%となり、4人に1人が65歳以上という状態が想定されます。

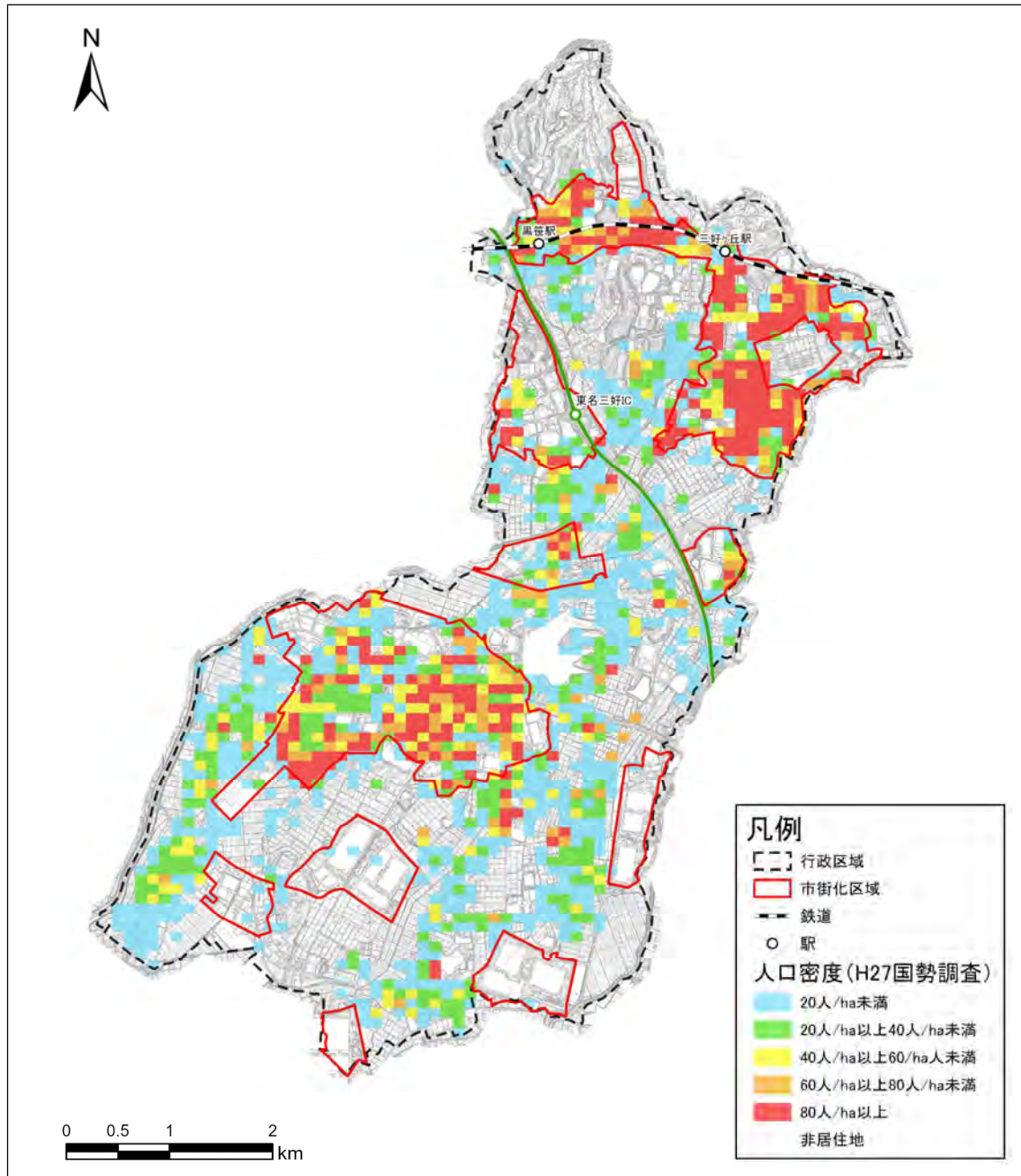


資料：第2次みよし市総合計画

図 人口動向（実績値及び推計値）

## (2) 人口密度

本市の人口は市街化区域※<sup>1</sup> に集中しています。特に、三好丘地域、三好地域等の人口密度が高くなっています。



資料：平成 27(2015)年国勢調査

図 人口密度分布図

※1 市街化区域：すでに市街地を形成している区域及び概ね 10 年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域。

### (3) 土地利用

地目別の土地利用面積をみると、農地が市全体の 23.2%、宅地が 33.2%を占めており、森林は 4.8%とわずかとなっています。

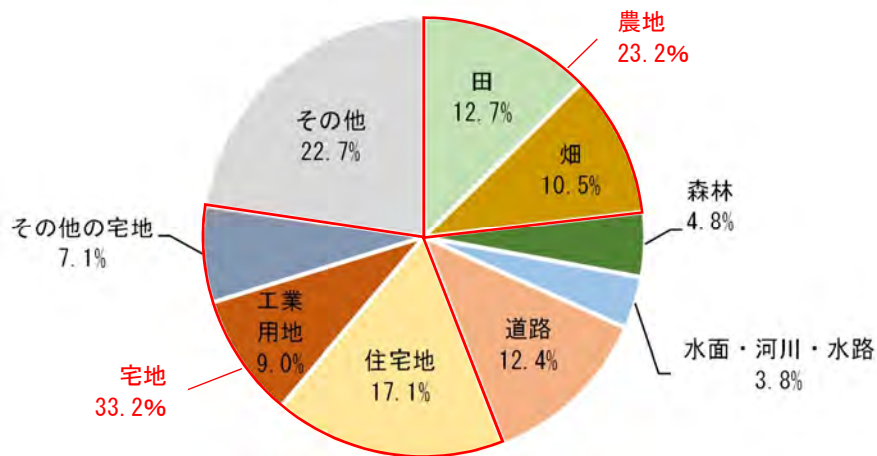
また、農地面積の割合は隣接都市と比較して、大きい傾向にあります。

表 土地利用面積（地目別）

農地		森林	原野	水面・河川・水路	道路	宅地			その他	合計
田	畑					住宅地	工業用地	その他の宅地		
408 (12.7)	337 (10.5)	154 (4.8)	0 (0.0)	123 (3.8)	399 (12.4)	549 (17.1)	291 (9.0)	229 (7.1)	730 (22.7)	3219 (100)

※上段：面積（ha）、下段：合計面積に占める割合（%）

※割合（%）は小数点以下を四捨五入しているため、必ずしも合計が 100%とはならない。



※割合（%）は小数点以下を四捨五入しているため、必ずしも合計が 100%とはならない。

資料：土地に関する統計年報〔2021 年版〕（愛知県）

図 土地利用面積の割合

表 農地面積の割合（隣接都市との比較）

	行政面積（ha）	農地面積（ha）	割合
みよし市	3,219	745	23.2%
豊田市	91,832	6,310	6.9%
日進市	3,491	435	12.5%
刈谷市	5,039	1,180	23.4%
東郷町	1,803	343	19.0%

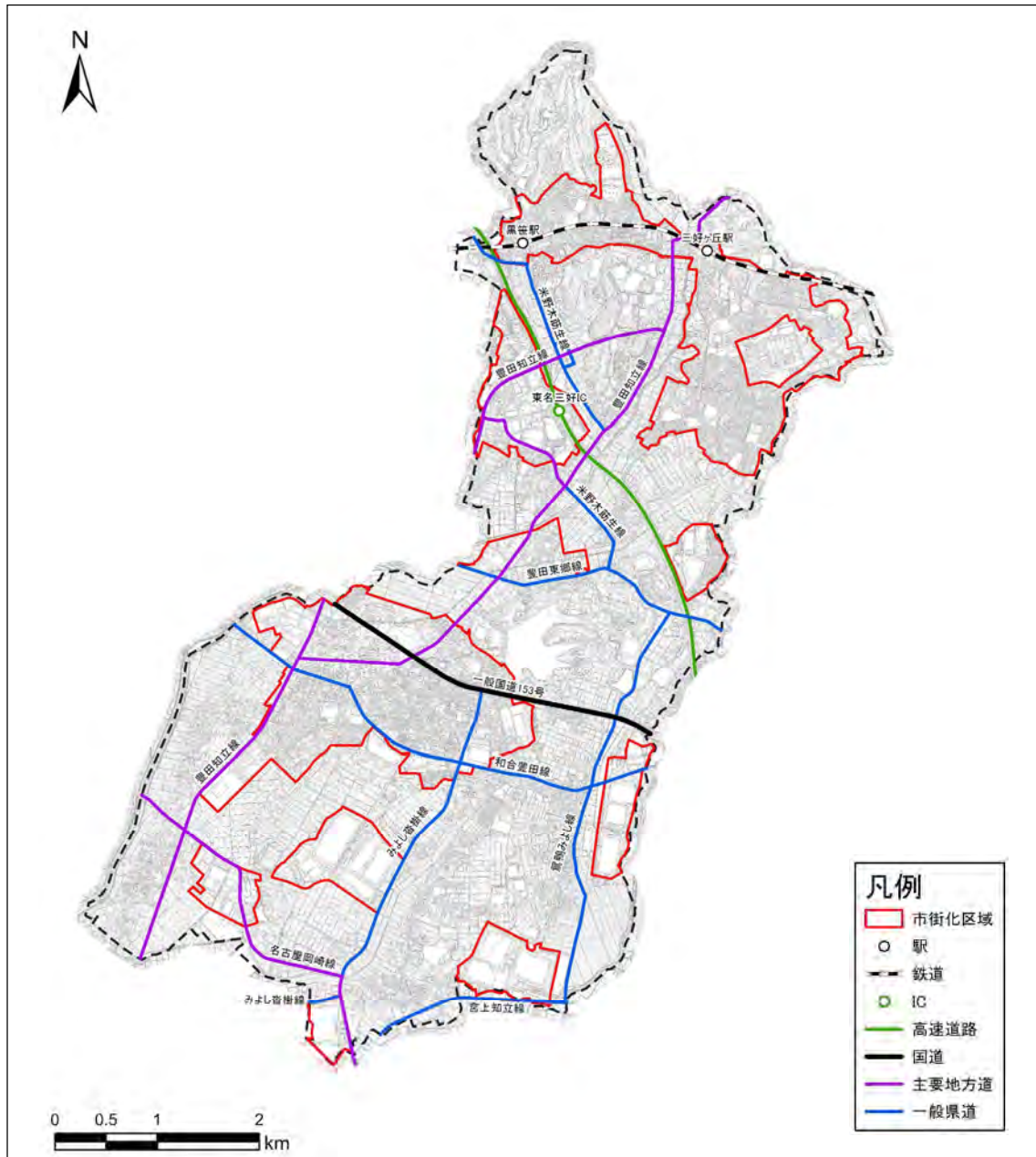
資料：土地に関する統計年報〔2021 年版〕（愛知県）



#### (4) 交通網

本市を南北方向に縦断する東名高速道路、東西方向に横断する国道 153 号をはじめ、都市幹線道路である主要地方道豊田知立線、名古屋岡崎線等が整備されており、本市の骨格を形成しています。また、東名高速道路の東名三好 I C が設置されていることから、県内外からの交通の利便性が高い立地となっています。

鉄道では、名鉄豊田線が本市の北端を東西に横断しており、黒笹駅と三好ヶ丘駅の 2 駅が豊田・名古屋方面への通勤、通学の玄関口となっています。

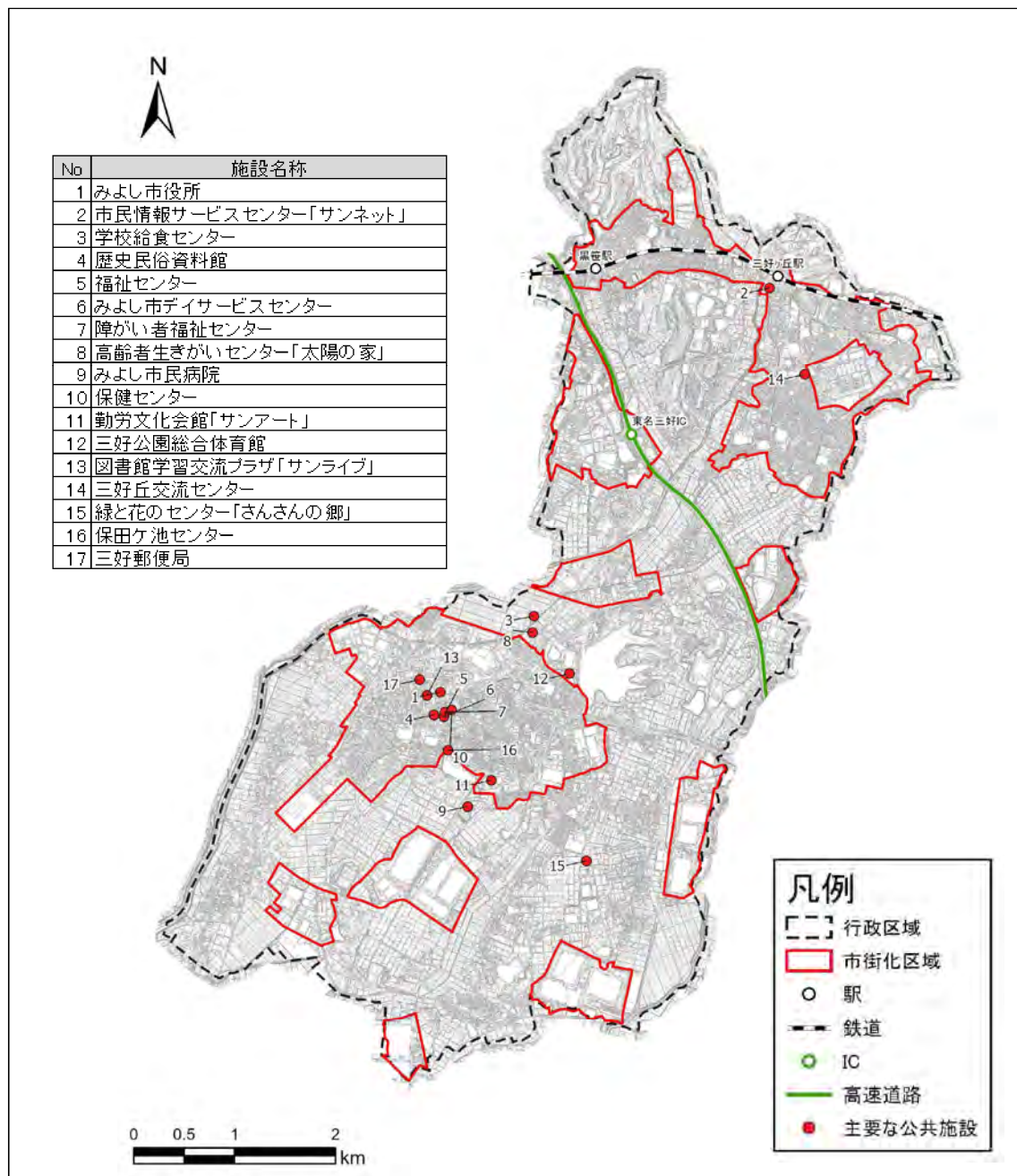


資料：みよし市資料（一部加筆）

図 交通ネットワーク

## (5) 公共施設

主要な公共公益施設は、三好地区に集中して立地しています。



資料：みよし市オープンデータ

図 公共施設位置図

\_\_\_\_\_



## 2) 景観資源

本市の景観資源について、「美しい愛知づくり景観資源 600 選（愛知県、平成 19(2007)年度）」では、以下の7点が選定されています。また、本市ではみよし市景観百選として、みよし市にある美しく豊かな景観を見つめ直し、次の世代に守り伝え、これからのまちづくりに活かしていくために、みなさんが日ごろから大切に感じている「みよしらしい景観」を募集し、作成しています。

表 市内の景観資源

		
憩いの空間：境川緑地	開発の波に打ち克った萌生 辰己山の「アベマキ」	境川の源流：長田池
		
茶屋川兩岸の田園風景	水辺と森の空間「保田ヶ池公園」	三好池
		
三好稲荷と満福寺境内		

資料：美しい愛知づくり景観資源 600 選（愛知県、平成 19(2007)年度）

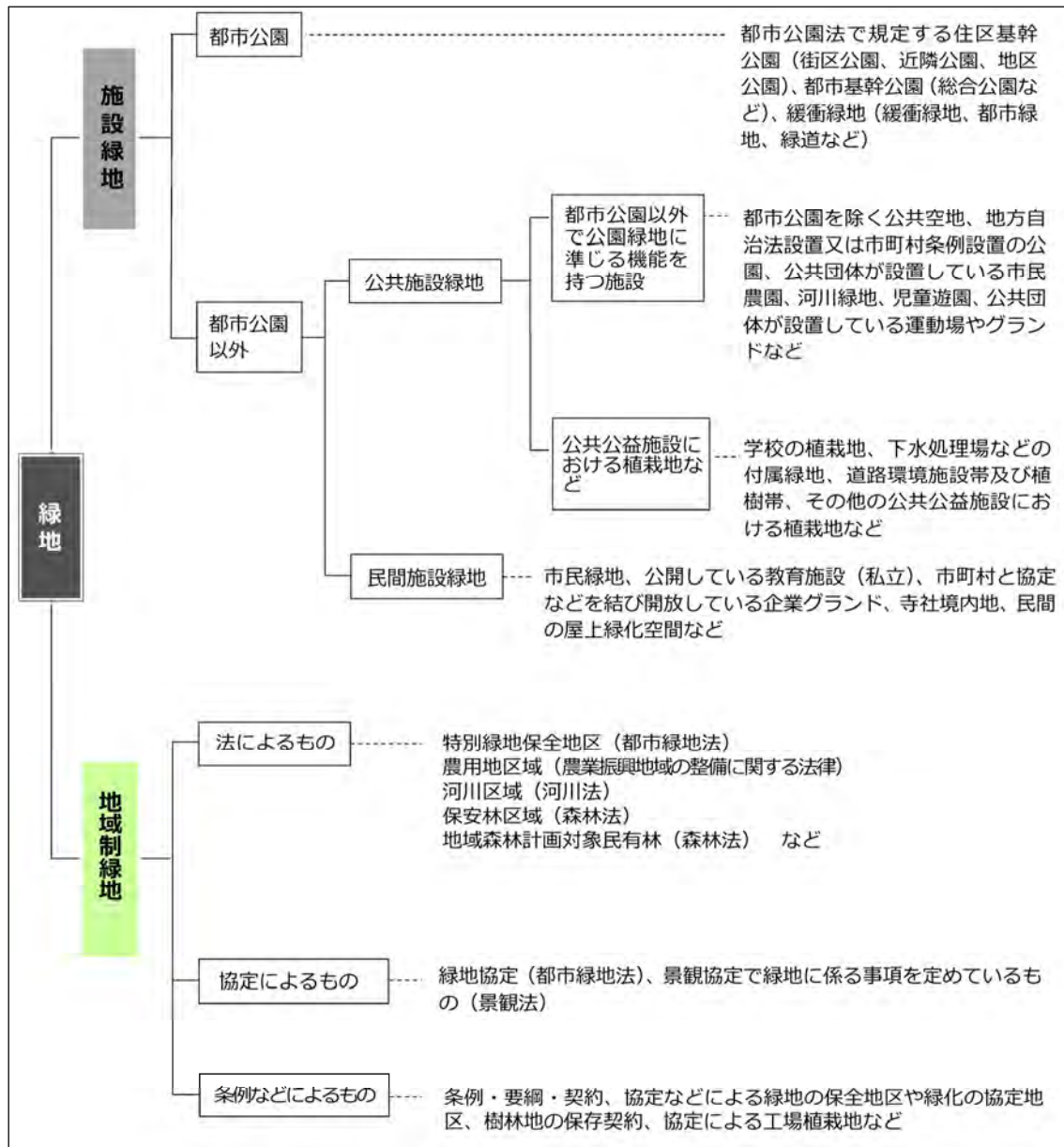


### 3. 緑地の現況

#### (1) 緑地の分類

「緑地」の分類は、都市公園や公共施設緑地、民間施設緑地からなる「施設緑地」と、法令等により保全が図られる「地域制緑地」に区分して整理します。

表 緑地の分類表



資料：緑の基本計画ハンドブック（令和3(2021)年改訂版）

## (2) 施設緑地

### 1) 都市公園

本市には、都市公園が 94 施設あります。都市公園の内訳は、街区公園<sup>※1</sup>40 箇所、近隣公園<sup>※2</sup>5 箇所、地区公園<sup>※3</sup>2 箇所、総合公園<sup>※4</sup>1 箇所、緑地 42 箇所、緑道<sup>※5</sup>4 箇所となっています。(未供用の施設は含まない)

市民一人あたりの都市公園面積は 16.42 m<sup>2</sup>/人であり、全国平均の約 10.69 m<sup>2</sup>/人、愛知県平均の約 7.84 m<sup>2</sup>/人を上回っている状況です(出典:「令和元年度末愛知県都市公園現況」)。また、供用開始からの経過年数をみると、全体の約 7 割が 20 年未満となっており、比較的新しく整備された都市公園が多い状況です。

表 都市公園の整備状況(令和 3(2021)年度末時点)

区分				都市計画決定		供用開始		
				箇所数	面積 (ha)	箇所数	面積 (ha)	整備水準 (㎡/人)
都市公園	基幹公園	住区基幹公園	街区公園	28	7.81	40	11.73	1.92
			近隣公園	5	10.50	5	10.50	1.72
			地区公園	3	24.20	2	20.11	3.28
		都市基幹公園	総合公園	1	70.40	1	16.17	2.64
	都市緑地	緑地		6	35.99	42	38.90	6.35
		緑道		2	1.68	4	3.11	0.51
	計				45	150.58	94	100.52

※整備水準：供用面積を令和 4(2022)年 4 月 1 日時点の住民登録人口(61,218 人)で除した値

- ※1 街区公園：主として街区内に居住する者の利用に供することを目的とする都市公園。1 箇所あたり面積 0.25ha を標準として配置する。
- ※2 近隣公園：主として近隣に居住する者の利用に供することを目的とする都市公園。1 箇所あたり面積 2ha を標準として配置する。
- ※3 地区公園：主として徒歩圏内に居住する者の利用に供することを目的とする都市公園。1 箇所あたり面積 4ha を標準として配置する。
- ※4 総合公園：都市住民全般の休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供することを目的とする都市公園。都市規模に応じ 1 箇所あたり面積 10～50ha を標準として配置する。
- ※5 緑道：災害時における避難路の確保、都市生活の安全性及び快適性の確保等を図ることを目的とする都市公園。近隣住区または近隣住区相互を連絡するように設けられる植樹帯及び歩行者路または自転車路を主体とする緑地で幅員 10～20m を標準として配置する。

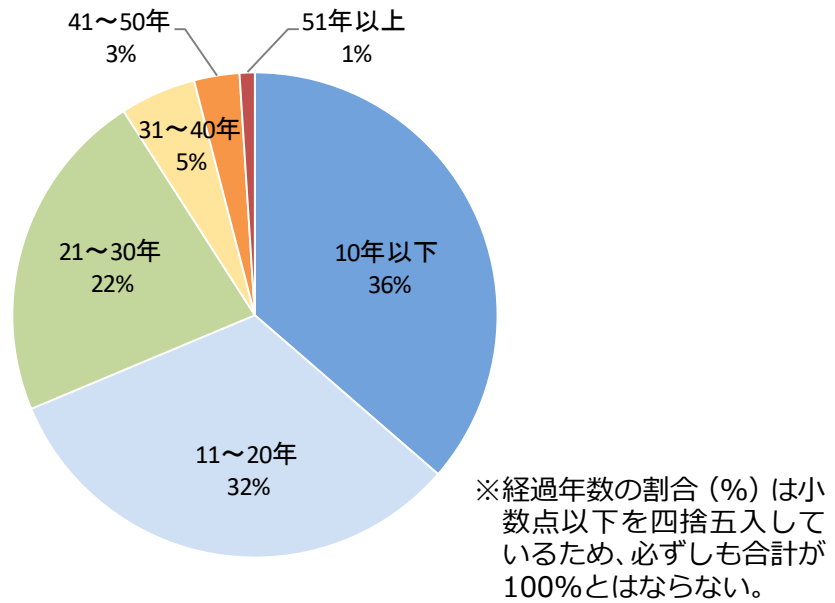


図 都市公園の供用開始からの経過年数（令和3(2021)年度末時点）

表 都市公園の一例

 <p>三好公園（総合公園）</p>	 <p>細口公園（地区公園）</p>
 <p>三好丘公園（近隣公園）</p>	 <p>池下公園（街区公園）</p>

資料：みよし市HP

## 2) 公共施設緑地

本市には、公共施設緑地が 135 施設あります。公共施設緑地の内訳は、児童遊園が 11 箇所、児童遊園地が 22 箇所、農村公園が 4 箇所、広場が 27 箇所、学校が 14 箇所、調整池が 22 箇所、市民農園※1 が 1 箇所、保育園が 10 箇所、緑地が 5 箇所、墓園が 1 箇所、公共公益施設が 6 箇所、供給処理施設が 12 箇所となっています。以下に一例を示します。

表 公共施設緑地の一例

 <p>福田農村公園（農村公園）</p>	 <p>南部地区コミュニティ広場（広場）</p>
 <p>なかよし保育園（保育園）</p>	 <p>みよし市民病院（公共公益施設）</p>

資料：みよし市ＨＰ

※1 市民農園：区画された場所を住民に貸し出して菜園や花畑等として利用する施設。分区分とも言う。



## 3) 民間施設緑地

本市には、民間施設緑地が41施設あります。民間施設緑地の内訳は、神社寺院が25箇所、ゴルフ場が4箇所、幼稚園が6箇所、広場が1箇所、学校が2箇所、緑地が1箇所、市民農園が2箇所となっています。以下に一例を示します。

表 民間施設緑地の一例



資料：みよし市ＨＰ  
 筋生神社（神社寺院）



資料：三好カントリー倶楽部ＨＰ  
 三好カントリー倶楽部（ゴルフ場）



資料：三好文化幼稚園ＨＰ  
 三好文化幼稚園（幼稚園）



資料：東海学園大学ＨＰ  
 東海学園大学（学校）

**(3) 地域制緑地**

本市には、地域制緑地に該当する緑地として、保安林<sup>※1</sup>、地域森林計画対象民有林、農業振興地域農用地区域<sup>※2</sup>、河川区域<sup>※3</sup>があります。以下に一覧表を示します。

表 地域制緑地の整理表

(単位：ha)

区分	現況量（令和3(2021)年度末）		
	市街化区域	市街化調整区域	合計
保安林	0	50.00	50.00
地域森林計画対象民有林	19.38	125.16	144.54
農業振興地域農用地区域	0	745.00	745.00
河川区域	0	43.00	43.00
合計	19.38	963.16	982.54

※1 保安林：災害防止や公共の福祉増進、他産業の保護等を目的として、森林法により、伐採、使用を制限、禁止されている森林。

※2 農業振興地域農用地区域：農業振興地域の中において農業基盤の整備を進める区域。また、農業関係の公共投資が重点的に投入される区域。

※3 河川区域：河川の堤防から堤防までの区域。洪水等災害の発生を防止するために必要な区域であり、河川法が適用される。

## (4) 現況の緑地の量

本市における緑地の量は、平成 20(2008)年度末（前計画策定時）から令和 3(2021)年度末（現況値）にかけて、都市計画区域内で約 74ha 減少しています。

施設緑地については、都市計画区域内で約 20ha 増加しています。内訳をみると、都市公園の整備が進んでいる一方で、公共施設緑地及び民間施設緑地が減少している状況です。また、地域制緑地については、都市計画区域で約 81ha 減少しています。

表 現況の緑地の量

(単位 : ha)

区 分				平成20(2008)年 (前計画策定時)			令和3(2021)年 (現況値)			変化量 (令和3(2021)年－平成20(2008)年)		
				市街化 区域 (1)	市街化 調整区域 (2)	都市計画 区域 (1)+(2)	市街化 区域 (1)	市街化 調整区域 (2)	都市計画 区域 (1)+(2)	市街化 区域 (1)	市街化 調整区域 (2)	都市計画 区域 (1)+(2)
緑地	施設 緑地	都市公園		31.91	37.54	69.45	56.66	43.86	100.52	24.75	6.32	31.07
		公共施設緑地		38.69	30.52	69.21	40.09	24.80	64.89	1.40	-5.72	-4.32
		民間施設緑地		5.36	143.38	148.74	6.05	135.97	142.02	0.69	-7.41	-6.72
		施設緑地 合計		75.96	211.44	287.40	102.80	204.63	307.43	26.84	-6.81	20.03
	地域 制 緑地	法に よるもの	保安林	0	47.00	47.00	0.00	50.00	50.00	0.00	3.00	3.00
			地域森林計画 対象民有林	0	158.00	158.00	19.38	125.16	144.54	19.38	-32.84	-13.46
			農業振興地域 農用地区域	0	817.00	817.00	0.00	745.00	745.00	0	-72.00	-72.00
			河川区域	0	43.00	43.00	0.00	43.00	43.00	0	0	0
		法によるもの計		0	1,065.00	1,065.00	19.38	963.16	982.54	19.38	-101.84	-82.46
		地域制緑地間の重複部		0	13.48	13.48	0.00	12.22	12.22	0.00	-1.26	-1.26
		地域制緑地 合計		0	1,051.52	1,051.52	19.38	950.94	970.32	19.38	-100.58	-81.20
		施設・地域制緑地間の重複部		0	57.59	57.59	15.97	54.50	70.47	15.97	-3.09	12.88
	緑地 総計 (都市計画区域面積に対する緑の割合)			75.96	1,205.37	1281.33 (39.9%)	106.21	1,101.07	1,207.28 (37.5%)	30.25	-104.30	-74.05

※平成 20(2008)年の地域制緑地（市街化区域面積）は、現行計画の巻末 22 の面積を記載しています。

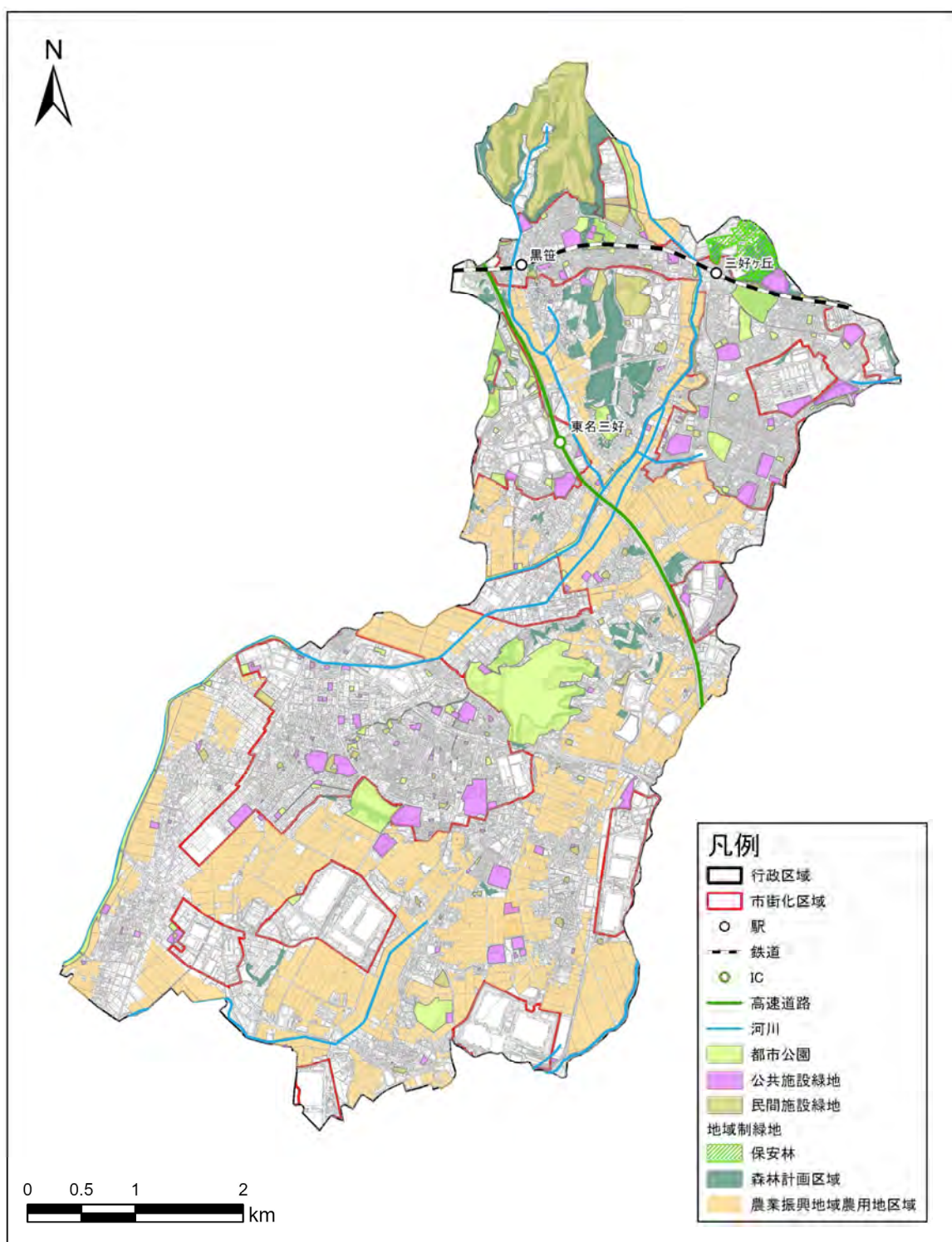


図 緑地の現況図（令和 3(2021)年度末）



### (5) 緑化推進の取組

本市では、緑化推進に向けて、行政区やNPO法人等による緑化推進の取組が行われています。以下に事例を示します。

#### 1) オオキンケイギク駆除活動（平成 30(2018)年5月 26 日）

オオキンケイギクの駆除活動が5月26日、森曾工業団地北側の砂後川堤防等で行われました。オオキンケイギクの駆除の目的や取り方等についての説明を聞いた後、グループに分かれて駆除活動を開始。川沿いにオオキンケイギクが茂る中、参加者たちはオオキンケイギクの根をスコップで掘り起こして懸命に抜き取っていました。この日駆除されたオオキンケイギクは、合計でおよそ 1,060 k g でした。



資料：みよし市HP

#### 2) 親子で行う生きものも育てるお米作り（平成 30(2018)年6月 16 日）

NPO法人みよしの自然環境を守る会は、市内の自然環境の保全や整備を行い、また市民に自然と触れ合う機会を提供することで、自然環境を保全することの大切さを知ってもらおうとさまざまな活動をしています。その活動の一環として、親子で自然と触れ合いながら田植えから収穫までを体験してもらおうと、1年を通して「親子で行う生きものも育てるお米作り」と題したイベントを開催しました。



資料：みよし市HP

#### 3) 保田ケ池公園植樹祭（平成 31(2019)年2月 16 日）

平成 28(2016)年度から保田ケ池公園の南側を整備しており、新規整備エリアとなるドングリの森ゾーンで保田ケ池どんぐりの会が主催する植樹祭が行われました。保田ケ池公園内のどんぐりの実を拾い集め、2年間にわたり育ててきた苗木約 4,600 本を近隣に住む小学生とその家族、市内の公園を拠点に活動する団体等約 500 人がドングリの森ゾーン一面に植えました。



資料：みよし市HP

#### 4) 水中の生き物探しと池の整備（令和3(2021)年6月26日）

境川源流域でNPO法人みよしの自然環境を守る会による池周辺の整備や水中の生き物探し等が行われ、愛知教育大学の学生や親子が参加しました。木の伐採や草取り等の池周辺整備を行うとともに、ビオトープや田んぼでは子どもたちが田んぼに入って生き物を採集し、境川源流域の自然や生き物について理解を深めました。



資料：みよし市HP

#### 5) 緑のカーテン用苗の無料配布（令和4(2022)年5月8日）

夏の省エネルギーや地球温暖化防止策の一環として5月8日、緑のカーテン用の苗の無料配布が市役所で行われました。多くの世帯が訪れ、ゴーヤ、キュウリ、パッションフルーツの苗を2株ずつ配布。今回配布した苗やつる性植物で作られたものを対象とした「緑のカーテンコンテスト」が開催されました。



資料：みよし市HP

#### 6) 「紫陽花」植栽の会（令和4(2022)年6月4日）

三好丘行政区と区のボランティアが主催し、みよし市景観百選への登録を目指して三好丘六丁目のみどりのこみち東屋付近にアジサイの道を作ろうと企画されました。三好丘行政区民やボランティア等、55人が参加しました。昨年か挿し木をして準備したガクアジサイやカシワバアジサイ等4種類 65本の苗木が用意され、花づくり推進委員から植栽の方法について説明を受けた後6つのグループに分かれて作業されました。



資料：みよし市HP



### (6) 緑被の状況

市全域に対する本市の緑被率は約 64%となっており、市街化調整区域を中心に緑被地が広がっています。



資料：都市計画基本図に一部加筆

図 緑被図

【参考：緑被地について】

衛星画像より抽出した、樹林地・草地・水辺地及び公園・緑地等、植物の緑で被覆された土地、もしくは緑で被覆されていなくとも自然的環境の状態にある土地を緑被地としています。



資料：航空写真（令和4(2022)年1月1日撮影）に一部加筆  
図 緑被地について



## 4. 市民アンケート

### (1) 調査概要

緑と景観のまちづくりに対する市民の意見や意識を把握し、計画づくりに反映することを目的として市民アンケート調査を実施しました。市民アンケート調査結果の概要を下表に示します。

表 市民アンケート調査の概要

調査対象	みよし市に居住する 15 歳から 74 歳までの市民 1,000 人（無作為抽出）
調査範囲	みよし市全域（6 地域区分） ※下図参照
調査方法	調査対象者宛に、調査票及び返送封筒を郵送配布し、回収は市役所への返送
調査期間	令和 4(2022)年 11 月 18 日（金）～令和 4(2022)年 12 月 18 日（日）の 1 か月間
回収票数	回収票数は、409 票（回収率 40.9%）

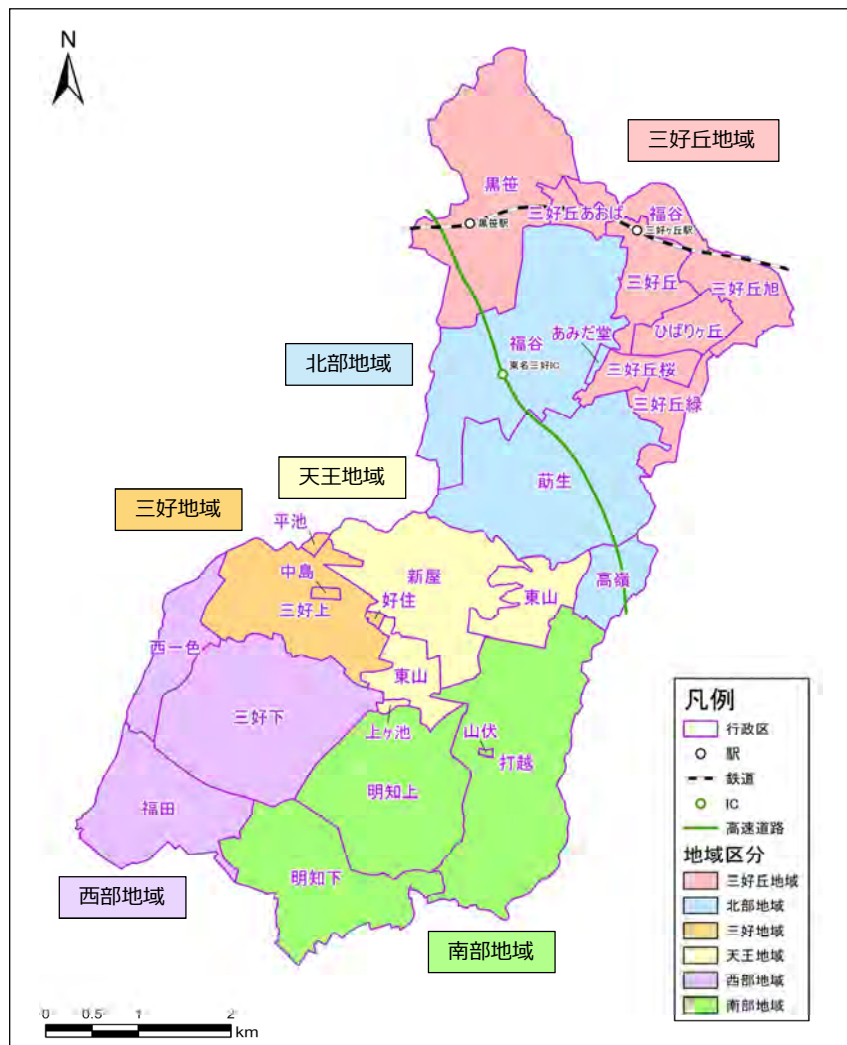


図 地域区分図

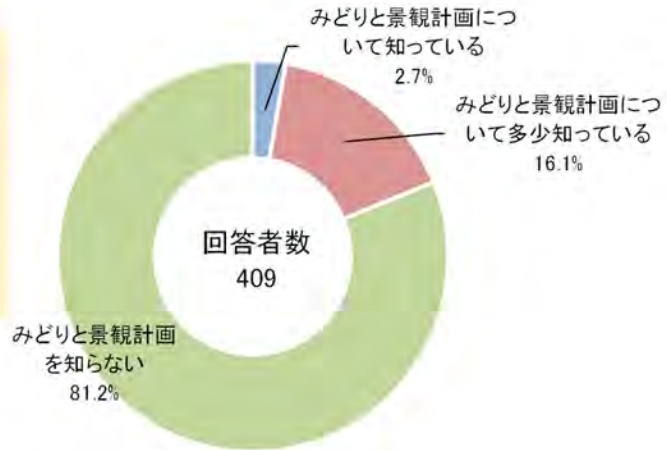
## (2) 調査結果（単純集計結果の抜粋）

市民アンケート調査結果から市民の方の意識や特徴について傾向を整理しました。

## みどりと景観計画が認知されていない傾向

「みどりと景観計画を知らない」が81.2%と最も高く、8割を超えており、緑と景観計画が認知されていない状況です。

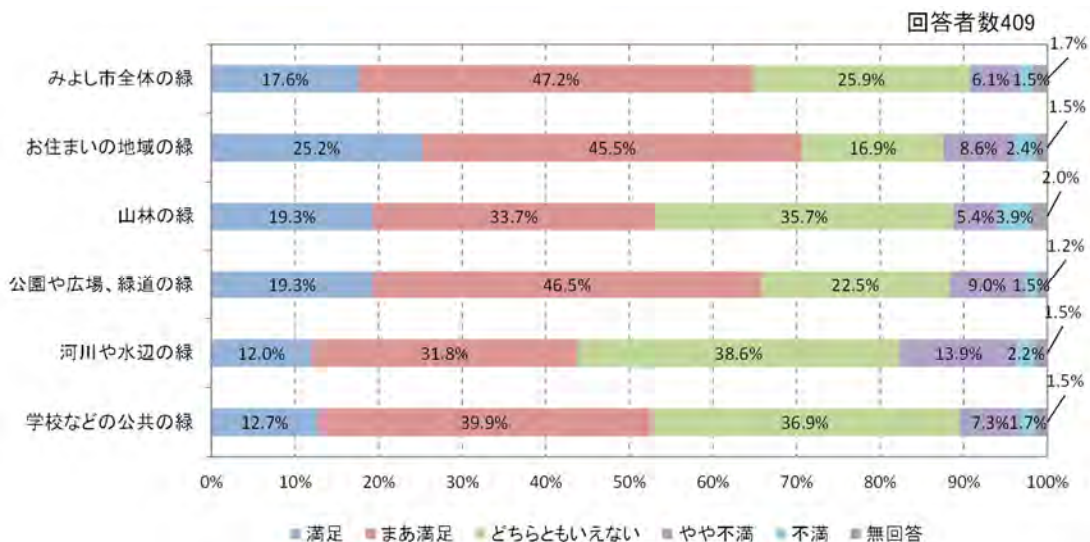
**問5** 現在のみどりと景観計画は、平成23年4月に公表しています。みどりと景観計画について、該当する番号1つに○印をつけてください。



## 市内の緑について量的不満は少ない傾向

市内の緑の豊かさ（多さ）について、概ね半数以上が「満足」、「まあ満足」と回答しているため、現状に対して量的な不満は少ないといえます。

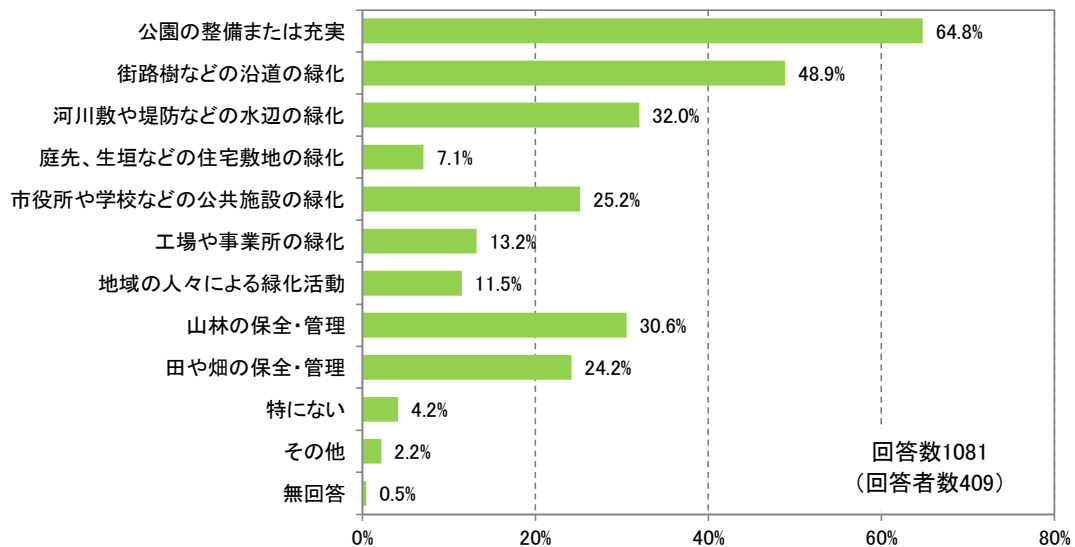
**問8** みよし市の「緑の豊かさ(多さ)」の印象について、各項目の1～5の番号のうち1つに○印をつけてください。



### 緑の保全や緑化に対して、公園の整備または充実が重要と考える傾向

緑の保全や緑化に対して重点を置くべきこととして、「公園の整備または充実」の割合が最も高くなっています。

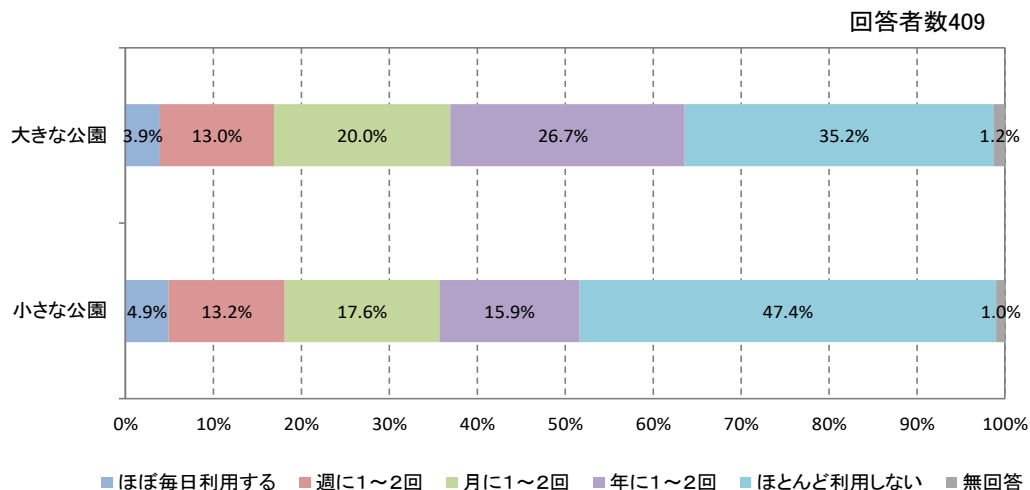
**問 10** みよし市で緑の保全や緑化に取り組んでいくために、重点をおくべきだと思うことについて、該当する番号 3 つまでに○印をつけてください。



### 公園の利用頻度は、身近で小さな公園の方がほとんど利用しない人が多い傾向

公園の利用頻度に着目すると、公園をほとんど利用しない人の割合は、大きな公園で 35%程度、身近で小さな公園で 47%程度となっています。

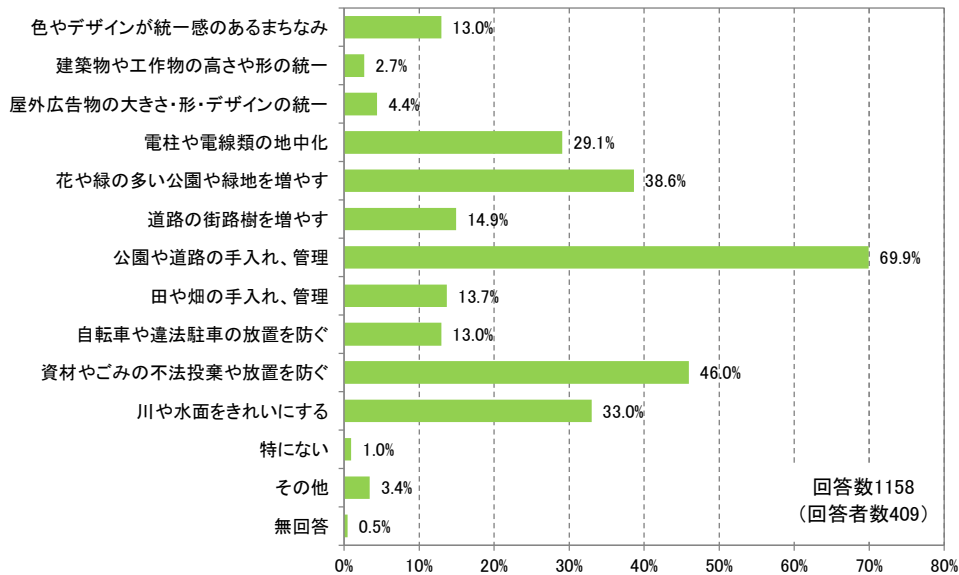
**問 13** 公園の利用頻度について、大きな公園（三好公園、保田ヶ池公園、細口公園、三好丘緑地）と身近で小さな公園それぞれで該当する番号を記入してください。



### 景観づくりに対して公園や道路の維持管理を大切だと考える傾向

美しい景観づくりに向けて、「公園や道路の手入れ、管理」を大切だと思う割合が最も高く、今ある公園や道路の緑の充足に対する満足だけでなく、緑の質を高めることが求められる傾向があると考えられます。

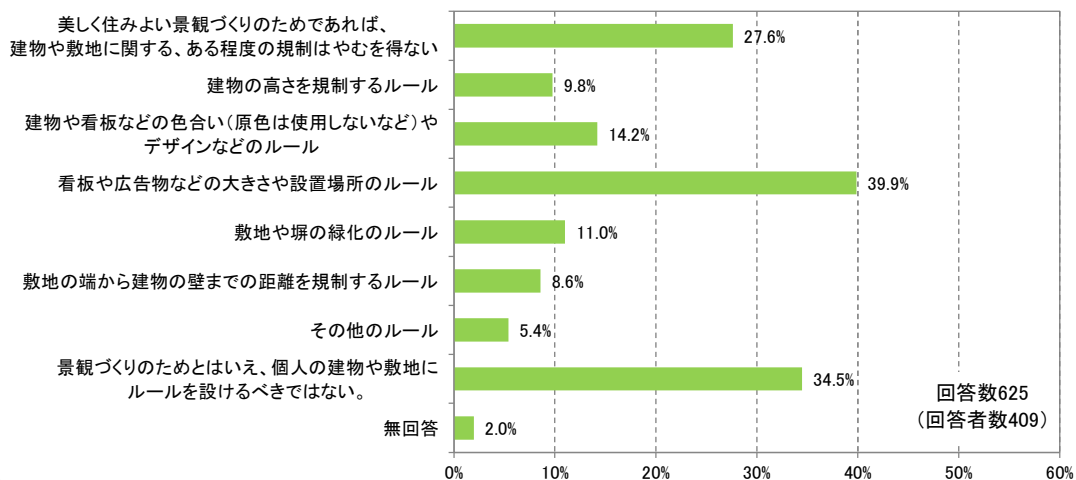
**問 14** みよし市で美しい景観づくりをおこなっていくために、大切だと思うことについて、該当する番号3つまでに○印をつけてください。



### 美しい景観づくりに対して、看板や広告物などの大きさや設置場所のルールが必要だと考える傾向

「看板や広告物などの大きさや設置場所のルール」の割合が最も高くなっています。次いで「景観づくりのためとはいえ、個人の建物や敷地にルールを設けるべきではない」の割合が高くなっています。

**問 15** みよし市において、美しい景観づくりをおこなっていくために、どのようなルールが必要だと思いますか。該当する番号2つまでに○印をつけてください。



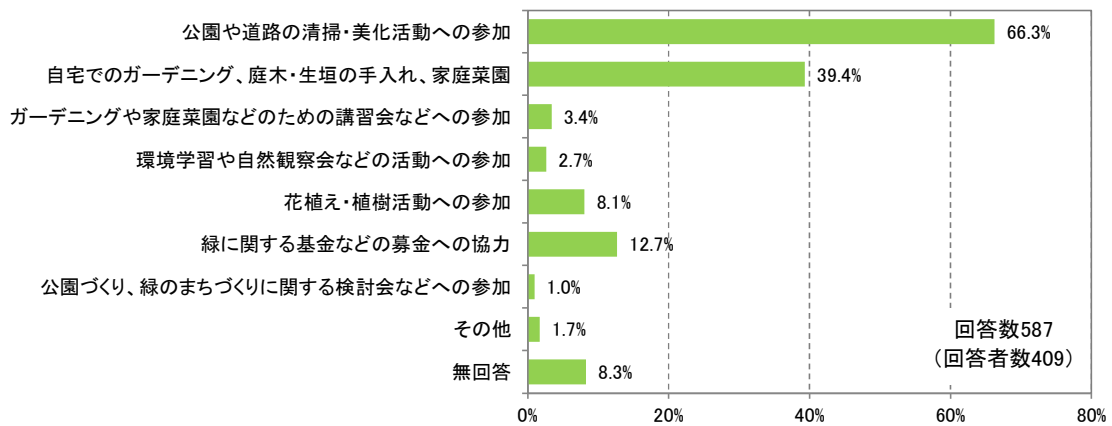


### 今後取り組んでみたい活動に対して、一定の関心がある傾向

これまでに参加した活動については、「公園や道路の清掃・美化活動への参加」の割合が最も高くなっています。また、今後取り組んでみたい活動として、全ての活動内容で一定数の回答が得られたため、景観と緑の美しいみよし市のまちづくりのための活動に対して、一定の関心があることが確認できます。

**問 16** 景観と緑の美しいみよし市のまちづくりのための取り組みとして、これまでに地域のどのような活動に参加されましたか。また、これから取り組んでみたい活動について、それぞれ該当する番号を全て記入してください。

#### ◇これまでに参加した活動



#### ◇今後取り組んでみたい活動

